



学校だより

# 一人一人が主人公

令和6年11月18日  
豊岡市立但東中学校  
11月号

【 学校教育目標 : ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子 】

## 学年の垣根を越えて最高の文化祭へ!

朝夕が寒くなり、秋の一層の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また先日開催いたしました文化祭には、大変多くの方々にご来校いただきましたこと感謝申し上げます。

本年度の文化祭のスローガンは「学年の垣根を越えて最高の文化祭へ!」でした。今年度の合唱発表は学年ごとに実施するのではなく、体育祭と同じく、全校生を縦割りとした1年生から3年生が混合の赤白の2つのグループで合唱を行うブロック合唱と、全校生徒による全校合唱を実施しました。

合唱は人数が増えれば増えるほど歌声が力強くなりますが、逆にまとまりやハーモニーを上げていくことは難しくなります。特に全校合唱では、難度の高い曲を仕上げるために大変な苦勞がありました。短い期間で練習を効率的に行うための工夫は必要ですし、加えて指揮や伴奏の重要性はさらに高まります。

練習の方法や内容については日々試行錯誤しながら、職員と生徒たち一緒になって進めていきました。この試行錯誤そのものが文化祭の学びの場であったと私は感じています。当日は本当に素晴らしい合唱を披露してくれました。



意見発表では、「自分を変えてくれるもの」、「自分らしく生きられる世界へ」、「情熱」、の3つのテーマでした。それぞれが自分の視点から堂々と意見を述べており、大人も思わず「はっ」とさせられる内容ばかりで、それぞれの意見発表後は例年にも増して観衆からの拍手が大きかったのが印象的でした。

音楽部は、日ごろの練習の成果を発揮した心温まる演奏を披露してくれました。部員数の減少に

より、音楽部の顧問の森本先生、水田先生、帖佐先生が舞台上で演奏したり指揮棒を振るったりと、子どもたちと一緒に出演する姿は大変微笑ましいものでした。これも但東中学校ならではの取組だと思えます。

教科学習の展示では、生徒の皆さんの日々の学習と成長の過程を感じることができました。一人ひとりの着眼点や表現の違いが興味深く、多様な価値の重要性や個性の大切さが実感できる良い機会となりました。



## 人権講演会

「平和への一歩

～世界で今何がおきているか～

講師 栗田 佳典 氏

13歳のときに体験した心臓病の手術がきっかけで「いのち」の大切さ「支えられることの大切さ」を実感した栗田さんは、ほどなく世界の貧困問題、特に子ども兵の問題解決への支援に関心を持ち、何度もウガンダに足を運ぶこととなります。

現地で目の当たりにした子ども兵の実態から学んだ平和への願いを込めた講演内容は、子どもたちだけでなく大人の心にも響く内容でした。講演後は栗田さんの周りに人だかりができて、現地の民芸品等を交えながら様々な意見交換をされていました。



## 11月・12月の主な行事

- 11月 18日(月) PTCA 挨拶立ち番(25日(月))  
           3年生進路懇談会(19日(火)、21日(木))  
           20日(水) 3年生性教育  
           21日(木) コミュニケーション授業研修会  
           23日(土) 剣道新人大会県大会(～24日(日))  
           25日(月) 期末考査前部活動停止期間(～12月4日(水))  
           29日(金) 但東中学校区小中一貫英語研修会
- 12月 2日(月) 冬季バス開始  
           期末考査(～4日(水))  
           9日(月) 特別支援学校居住地校交流  
           18日(水) 期末懇談会(～20日(金))  
           23日(月) 給食最終日  
           24日(火) 2学期終業式  
           27日(金) アンサンブルコンテスト  
                   兵庫県卓球新人大会

